

【名取市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

令和元（2019）年度にスタートしたGIGAスクール構想の取組は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い一層加速し、名取市的小・中・義務教育学校においても、1人1台端末の実現により、ICTを活用した全ての児童生徒の学びを保障できる環境整備が図られました。また、令和3（2021）年1月に公表された中央教育審議会の答申「令和の日本型学校教育の構築を目指して」を始めとする政府の議論等の中で、ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」という新たな時代における学びの在り方が示され、これら的一体的な充実を図ることで、学習指導要領で求める「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげていくことが求められているところです。名取市的小・中・義務教育学校においては、各教科の特質に応じ、地域・学校、児童生徒の実情を踏まえた上で、ICTを活用した新たな教材や学習活動を取り入れ、児童生徒の資質・能力の育成を目指しています。

2 GIGA第1期の総括

名取市では、GIGAスクール構想事業を活用して、令和2年度末に市内全小・中・義務教育学校児童生徒に学習者用1人1台端末とオンラインで利用できる環境を整備し、その後順次教職員の端末整備を進めてきました。導入当初、児童生徒も、指導する教員も十分に使いこなせないという課題がありましたが、現在では授業やその他様々な場面で日常的に活用されるようになりました。その要因としては、令和3、4年度にモデル校に指定した市内小・中3校のタブレット活用授業の市内教職員の参観、モデル校における成果の市内15校での共有、令和5、6年度の市内15校での実践と効果的な取組の共有が挙げられます。また、ICT支援員の配置も日常的な活用につながる大きな要因となりました。様々な設定や機器トラブルをICT支援員が対応することで、教職員の業務負担が軽減され、授業や児童生徒と向き合うことに集中できたと捉えています。そして児童生徒の「学習内容の理解促進」「家庭における学習の充実」を図るために、各校において、デジタル教科書やデジタル教材等を活用した学習を推進してきました。デジタル教材は、自動採点が行われ、効率よく個に応じた知識や技能の習得を図ることにつながっています。その一方で、授業のどんな場面でICTを活用することが効果的なのかについての理解と研修が不十分であることが課題です。ICTの効果的な活用に関する実践を各校で引き続き行うとともに、実態に応じた研修を実施するなど、支援を行っていきます。

3 1人1台端末の利活用方策

GIGAスクール構想第2期で更新する1人1台端末について、その効果的な利用促進に向けて、次の3つの視点から取り組んでいきます。

（1）1人1台端末を積極的に活用するために

1人1台端末の利活用を促進するためには、教員一人一人がGIGAスクール構想の趣旨や中教審答申の理解を深め、ICT活用指導力を向上させることが大切です。ICT活用指導力の向上を目的とした方策は、2点です。1点目は、ICT活用研修の実施です。名取市では、教育委員会が主催する研修会を以下の通り毎年実施しています。

- ① 教科指導におけるICT活用研修会 講師：ICT活用リーダー養成研修会受講教員
- ② プログラミング研修会 講師：プログラミング教育リーダー養成研修会受講教員

これらの研修会に各校から参加者を募り、学んだことを各校の取組に生かしてもらうことで、教員のICT活用指導力が向上するよう、今後も支援していきます。

2点目は、校務における1人1台端末の活用です。名取市では、Google Workspace for Education等を活用して校務DXを目指し、事務作業の効率化を図っています。今後は、1人1台端末の利活用の更なる推進のために、先進的な取組を行っている市外の学校の情報を共有するとともに、市内各校の好事例の紹介を更に行っていきます。

（2）個別最適・協働的な学びの充実を図るために

名取市においては、各教科、総合的な学習の時間、その他様々な活動で1人1台端末を積極的に活用しています。1人1台端末の導入により、場所を選ばずに全ての授業の中でいつでも児童生徒自らが物事を調べたり、プレゼンテーションソフトを使って調べたことや感想を写真等を織り交ぜながらまとめたりすることができます。現在、各校においてデジタル教材や学習クラウド等を効果的に学習に取り入れていますが、授業における個別最適・協働的な学びの一層の充実に向けては、AIドリルやデジタル教科書等を授業のどんな場面で活用するのが効果的なのかを十分に検証し、効果的な実践を市内各校で共有し、自校の取組に生かしていくことが重要です。また、ICTがいつでも効果的に活用できるためには、ネット環境のより一層の充実が必要であり、今後も改善に努めています。

（3）全ての児童生徒の学びを保障するために

災害時等における家庭での学びの保障や、学校へ登校することが困難な児童生徒への支援、外国籍の児童生徒への教育支援に1人1台端末を活用していますが、今後も充実した活用となるよう努めています。

これらの取組を推進していくために、名取市としては、児童生徒向けの1人1台端末環境を継続して維持してまいります。